

城取博幸の
島根県隠岐島のスーパーマーケット見聞録

NO163
2023年8月
城取フードサービス研究所
城取 博幸

島根県隠岐島のスーパーマーケット見聞録
[中国地方の蔓牛最終編 隠岐島の「隠岐牛」](#)

2023-08-31 17:00:11

「中国地方の蔓牛の研究」最終編

「現地、現場、現物、現食主義者」としては隠岐島で「隠岐牛」を食べなくては
ここで五カ所目

出雲から隠岐島へ

出雲市駅から隠岐ノ島町西郷港まで4時間以上かかる

JR 出雲市駅 6時半発の電車で松江駅まで行きバスに乗り七類港まで行く

結局ホテルに戻ったのは8時30分であった

14時間かけて「隠岐牛」だけを食べに隠岐島まで行ってきた



松江駅前のバスターミナルで「隠岐汽船連絡バス」に乗る

奥に見える白い建物がフェリーターミナル



七類港フェリーターミナル



フェリー「おき」
高速船もあるが今回はフェリーにした
よい天気にも恵まれた



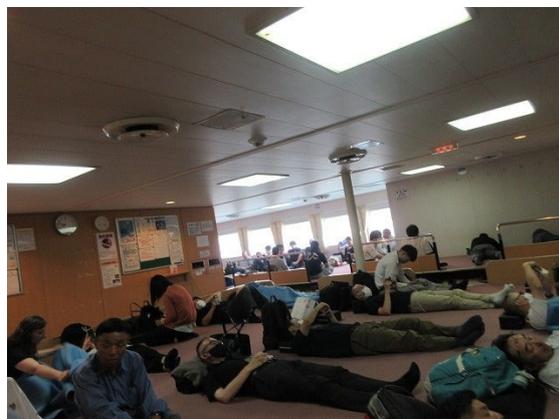
船内案内図
上2等客席はゆったり



廊下にも御座を敷いて寝ている人も
夏は涼しくていい

特等は個室

中を見るわけにはゆかない



二等客席はほぼ満席

場所を確保

毛布は1枚300円で二枚借りる

長時間のフェリーは足が延ばせてこれが一番楽だ



あまり見たくない備品

船は殆ど揺れず今回は必要なさそうだ

船内の客席の上部はベンチ席

ここでは長時間座れない



救命ボート

これも確認しておいた方がいい

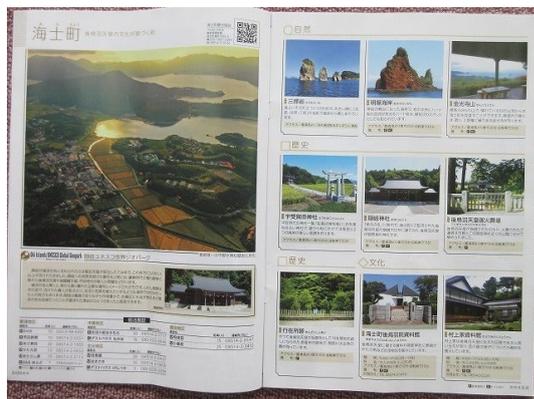
出航

隠岐島西郷港に向けて出港



島が見えなくなる

船内で情報収集 大きな島は「隠岐の島町」



観光ガイド

二番目の寄港地は「海士村」

歴史的見どころは「隠岐神社」「承久の乱」に敗れて海士町に配流された「後鳥羽天皇」の崩御
700年に建てられた 後鳥羽天皇が御祭神の神社

「後鳥羽天皇御火葬塚」後鳥羽天皇が崩されたのちに、火葬されたご遺骨は京都とこの隠岐神社
近くの山陵に分けて納められた



三番目の寄港地「西ノ島町」 隠岐ユネスコ世界ジオパーク



四番目は「知天村」天佐志比古命(一の宮)神社」1000年以上の歴史がある古社

「後醍醐天皇」が御配流の際に石に座って休息された伝説がある

「姫宮神社」豊玉姫、姉妹の女神様が祭神 周辺には縄文時代や古墳時代の横穴がある



隠岐島は2人の天皇が流された場所
 時間があればゆっくり見てみたかった
 隠岐グルメ



隠岐の島町の「西郷港」に近づく
 どこにまある均整の取れた山



牧場のような場所が見える

西郷港

島では一番大きく人口も多い



西郷港に到着

ここで下船しなかった

ここで降りてレストランに行く予定であったが

船のスタッフに聞くと「次の海士港によい焼肉レストランがあるからそこにした方がいい」と言われる

「そこで2時間停泊するのでその間にレストランに行く時間がある」という

しかし、到着予定は1時半、店の閉店は2時

親切にも船内で電話して予約してくれた

メニューを「ヒレ」か「ロース」に決めてくれと言うので「ヒレ」をお願いした

「自衛隊隠岐の島事務所」の看板が見える

この島で自衛隊？



なぜなら、隠岐の島は日本の固有の領土「竹島」に一番近い島だからだ

納得

本土に向かうフェリー



海士町に近づくと「三峰岩」が見えてくる

海士町菱浦港フェリーターミナル
小さいが立派なターミナルだ



ここでフェリーは2時間停泊
その間に隠岐牛をいただく
下船



ターミナル前の銅像

焼肉レストラン「島生まれ島育ち」

島根県隠岐郡海士町福井 1368 TEL 08514-2-1522

ランチ 11時～14時 定休日水曜日

駅前であるためすぐに分かる



入口

1時半に店に到着(2時閉店)

予約をしてなければ「閉店」の看板が出ていれば一環の終わりであった

何のためにここまで来たか分からない

フェリーのスタッフに感謝

すでにグリルに火を入れて待っていてくれた



年間 120 頭しか出荷されない「幻の黒毛和牛」

隠岐牛の説明

隠岐牛 株式会社 隠岐牛企画

隠岐の島で牛と共に、農業をし、馬喰をし、肉屋をし、牛を考え、牛の食事を考え、牛の寝床を考え、飼料屋をし、焼肉屋をし、肉を考え、おいしさを考え、売り方を考え、隠岐牛としました。牛と共に歩んで数十年。牛に愛情を注ぎ、積み上げ、私共は牛からおいしいお肉と糧をいただいています。

島生まれ、島育ち。



ランチメニュー

幻の隠岐牛ヒレランチが僅か 4000 円で食べられる

隠岐の島町のレストランのサーロインステーキランチは 8000 円であった

このくらいの価格は覚悟していたがこれほど程安いとは思わなかったヒレ肉ランチ



いいヒレ肉を用意してくれていた



いい肉だけに丁寧に焼く
中央の白いものは牛脂

月に 10 頭しか出荷しない肉
飼料(牧草、穀物)は島内で調達しているのであろう
隠岐牛の血統を引き継いだ「地産」の牛肉



第二ラウンド

食べた感想は「牛肉」と「上等なマグロ赤身」を合わせたようなあっさりとした味
かつて経験したことがない味だ

勿論塩だけでいただく
塩も地元の塩だ
口いっぱいに旨みが広がる



牛脂はしっかり焼いてこれも塩でいただく
デザートはアイスクリームだけなので、コーヒーを注文



認定書
隠岐牛の量り売り



地元のための牛肉だ

本来であれば「地産地消の牛肉」
島外の客が多くなれば島の人の肉が不足してしまう
あまり教えたくない焼肉レストラン
ごちそうさまでした いいものをいただきました

フェリーターミナル前の駐車場

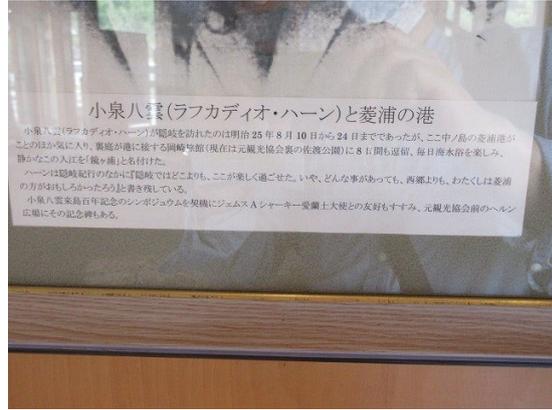


フェリーが見える
漁港魚もおいしいと思うが今回は牛に絞った



帰りのチケットを買う 隠岐から本土のチケット





ターミナルを散策

この絵は 小泉八雲と菱浦の港 八雲はここで海水浴を楽しんだ

本の中で「西郷より菱浦の方が楽しかった」と記している

農畜産物直売所



サザエの選別中

サザエの水槽



イサキ

メバル

スーパーではこの価格では買えない



名物菓子「白浪」

800年以上の歴史を持ち、後鳥羽天皇に献上された菓子



買って食べてみると砂糖をまぶした素朴な焼菓子

余分なものは一切入っていない

キンニャモニャまんじゅう

ここを紹介してくれた船のスタッフに差し入れ



JA 農産加工工場の「こじょう味噌」

醤油もろみのようだ



フェリー「おき」を見ながら一服 このゆっくりとした時間がいい
コーヒーとデザート



チョコレートケーキとアイスクリーム、フルーツ 食材は離島でも不自由していない



停泊中の「おき」

菱浦港を後にし本土(七類港)に向かう



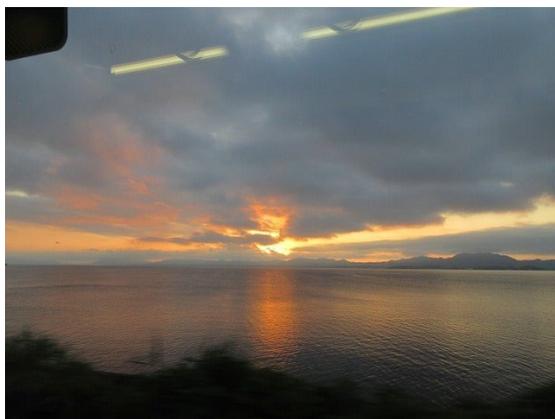
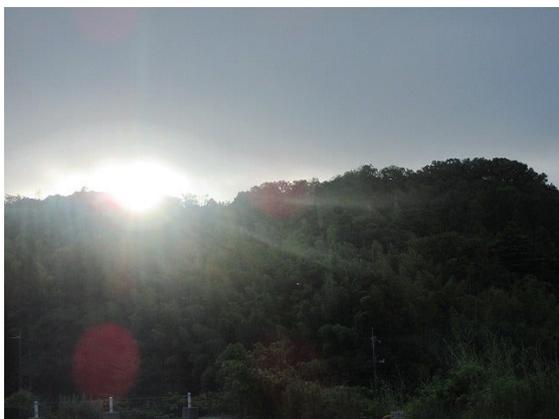
帰りは寝てしまい他の港の写真は撮れなかった

眼の前は「猿田彦」のような大男が横たわる



七類港に到着 もう薄暗くなっている

洛陽



穴道湖の日没

出雲駅近くの和食「日本海」



店内は満席
お通し



「赤天」「黒天」

赤天は唐辛子が入ったもの
黒天はのどぐろが入ったもの



「のどぐろ丼」と「宍道湖のしじみ汁」



一夜干しの炙りどぐろのようだ 味が濃くおいしい



しじみ汁も粒が大きく味が濃い

EMPTY DISHES ご馳走様でした



ホテルに入ったのは8時30分を過ぎていた

14時間かけて「隠岐牛」を食べに行く価値はあった 歴史的にも「後白河天皇」「後醍醐天皇」が流された島 また時間をつくりゆっくりと島めぐりができたらいいなと思っている

次回は境港に「かに」を食べに行く

鳥取県「境港なかうら市場」と「うまいもの」

2023-09-03 17:00:18

出雲市駅から米子駅経由境港駅へ



米子で乗り換える計画だったが.....

出雲市から境港まで通しでチケットを買う



しかし、米子駅から境港駅への電車は1時間後

JRの駅員に「境港行きのバスはありますか？」と聞くと「あるようですよ」

この言い方が気に入らない 時間をしっかりと確認しておかなかった自分が悪いが

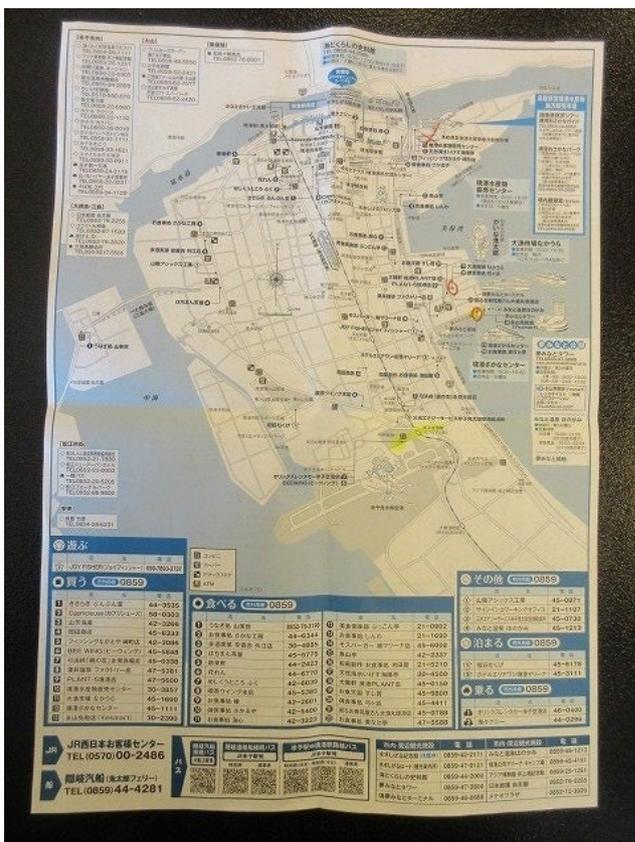
駅前



JR のチケットは捨てバスで境港へ向かう
境港駅に到着



漫画家「水木しげる」さんの生まれた所
水木さんはあの「ガダルカナルの戦い」から腕を失いながらも帰還した
運悪く大きな「境港水産物直売センター」は休みであったため
タクシーで「大漁市場なかうら」に向かう
直売センターは前に行ったことがあるため逆によかった



なかうら市場に到着
カニを持った鬼太郎



日本一のカニ漁獲量

恵比寿様像

恵比寿様と大国様の違い

恵比寿様は、七福神の中で唯一の日本古来の神様「漁業の神様」

竿と鯛を持っている

大国様は、「大国主命(おおくにぬしのみこと)」「縁結びの神様」

大きな袋と打ち出の小槌を持っている



レストラン「弓ヶ浜」 これも食べてみたいが、ここでは「カニ」





カニ味噌
 とろとろがついているのがうれしい
 島根県は山芋の産地



これは隠岐島名産の「こじょうゆ味噌(醤油もろみ)」か？
 カニ汁



EMPTY DISHES
 それにしてもあ直売所のニカタ 698 円のカニ(紅ズワイガニ?)に未練が残る

なかうら市場

鳥取県境港市竹内団地 209

市場入口の青果屋さん



魚売場では

「ズワイガニ」と「紅ズワイガニ」

紅ズワイガニはズワイガニ(松葉ガニ)に比べて水分が多く身の入りが少ない

旬の岩ガキとサザエ



チヌ、カサゴ、イサキ、真アジなど

白イカ、スルメイカ



のどぐろ一夜干し
トビウオ、サバ



えてがれい
沖キス



鳥取、島根の人は海の幸、山の幸に恵まれていて羨ましい

カニ姿蒲鉾
これはユニークだ



買い忘れてしまった

天ぷら、コロッケ、かまぼこ 3個 1000円
魚肉コロッケはおもしろい



前に紹介した赤天
昨晩は唐辛子入り赤天をいただいた
鬼太郎かまぼこセット
今の子供は鬼太郎を知っているかどうか



乾物の「お魚チップス」
乾物



市場近くの「PLANT-5」

地方の市場、スーパーマーケットは面白い

今日はここまで

今回は境港の「プロント5」「玉造温泉」を紹介します

境港「PLANT-5」「玉造温泉」「出雲のうまいもの」

2023-09-10 17:00:16

鳥取県境港市「なかうら市場」近くの「PLANT-5」

プラントは福井県を中心に全国 22 店舗(2022 年)を展開するスーパーセンター

売上高は約 953 億円 本社は福井県坂井市



PLANT-5境港店

鳥取県境港市竹内団地 276

スーパーセンターPLANT-5 は 5000 坪の大きさ

周りに民家はないが、遠くから車で訪れるようだ

開店は 8 時と早い

食品館入口



BBQ のチラシ

PLANTオリジナルBBQメニュー

これは楽しみだ



予約パンフレット

店内

PLANT はしばらく見ていないため楽しみだ

基本は矢印のようにワンウェイコントロール



メロン売場 鳥取はメロンの有名産地

一目で分かるスイカ売場

スイカも産地だ



カット野菜(キャベツ)のコーナー

このボリュームと価格に圧倒
ちくわ売場の前に



ちくわの中に納豆、ツナマヨなどの具材を詰める器具
おもしろい
これは2個購入して試してみる
名物の「焼あごちくわ」



乳飲料は「ドールフェア」89円
左は定番のカップ飲料
地元蒜山ヨーグルトの箱売り



鮮魚コーナー

さすがに大きな魚市場が隣にあるだけに生魚の売場はそれほど広くない

それでも鮮度はいい

いい生マグロを売っている



精肉売場を拡大

BBQ フェアの「ミールキット」と「マリネーション」は強烈な印象を受ける

品名もおもしろい



見事が商品づくり アメリカのスーパーマーケットを見ているようだ

マリネーション



魚のミールキットも併売

パン粉付け商品 未来の肉売場を見たようだ



惣菜売場

かつ丼



天井

売れ筋の「かつ丼」「天井」は圧倒的な価格とボリューム

自家製おにぎり

丁寧に作られている



酢豚の食べ比べセール

「王道黒酢酢豚」と「黒酢酢豚」

中大パックの品揃え 王道黒酢酢豚



黒酢酢豚

味の比較をしたかったが、何せ旅行者であるため

地元の名物羊かん



これはお土産に購入

菓子詰め合わせ



冷凍食品売場

NB 商品を中心に品揃え



冷凍ペットボトル

畜冷材も販売 これは参考になる

テナントのピザ売場



アップルパイ

フレッシュジュース



タクシーを呼んで境線の近くの駅まで

嫌な予感がするので、タクシーに待ってもらい無人駅の時刻表を確認

案の定列車は1時間後発であった
タクシーを降りなくてよかった
米子空港まで行くと空港リムジンと路線バスがある
米子駅行きは10分の待ち合わせであった

米子駅から玉造温泉駅へ



バスで玉造温泉に向かう
歩けないことはないがバスの方が便利
終点で下車



案内図を見て日帰り温泉施設に向かう

途中の足湯(無料)



勾玉のモニュメント

温泉施設に到着

「玉造温泉 ゆ〜ゆ」



大きな施設だ

タオルを購入して入浴

ゆっくり汗を流す それにしてもよく歩いたな



you-yu SPA

温泉大浴場

10:00 ~ 22:00
(最終受付 21:20)

朝風呂 毎週日曜日・お正月・
ゴールデンウィーク・お盆など
6:00 ~ 8:00 (最終受付 7:40)

入浴料金 入浴費はフロント前の券売機にてご購入ください。

	通常	回数券11枚限り
大人 (中学生以上)	500円	5,000円
小人 (3歳以上)	250円	2,500円

※3歳未満は無料(但し、保護者同伴)
※ホディソープとリンスインシャンプーは常備しています。

ご利用の際のご注意
温泉大浴場をより快適にご利用いただくために、次の事をご協力お願いいたします。

- ・飲酒しての入浴は特にご注意ください。なお、泥酔の方の入浴はお断りいたします。
- ・他のお客さまにご迷惑のかかる行為をされる方には入浴をご遠慮いたします。
- ・危険・違反行為などに対してのスタッフの指示に従っていただけない方のご入浴はお断りいたします。
- ・利用者が社会的義務の一員と認められる場合、ご入浴をお断りします。



土産物屋

ここで「抹茶ソフト」をいただく



玉造温泉 島根県松江市玉湯町玉造

1300年歴史 奈良時代の開湯と言われている

「三種の神器」の中の「八尺瓊勾玉(やさかにのまがたま)」がここでつくられたと言われている

平日であるせいか旅行客が少ない

勾玉つくり体験もできる



勾玉に由来を聞くと

「胎児と言う説もあるが、ここでは2つ併せて「ともえ」として使っていたのでは」と教えてくれた

電車に乗り出雲市駅のホテルに戻る 書かれているのは「ヤマタノオロチ」か



単線だ

出雲料理「山頭火」

今日はここで夕食をいただく



豚肉を煮たお通し メニュー 出雲料理のコースをお願いした



生もずく スーパーで売られている殺菌された物と全然違う



魚のサラダ

魚の種類は忘れた たぶんイサキ

お刺身は白イカ、カンパチ、タイ、イサキ
サザエのつぼ焼き



カマス
岩ガキ



一口でいただく
牡蠣は地方によって味が違う きのこの天ぷら



♯は「岩のりのおにぎり」と「しじみ汁」

これがおいしい

東北地方は「味噌焼きおにぎり」、関東では「醤油の焼きおにぎり」

中国地方は山口の「わかめおにぎり」や島根の「岩のりおにぎり」など海藻を使ったおにぎりが特徴だ

スーパーで「岩のリシート」を探したが見当たらなかった



しじみ汁と岩のりのおにぎりの組み合わせは最高

翌日の昼食は駅前の出雲そばの店「一福」

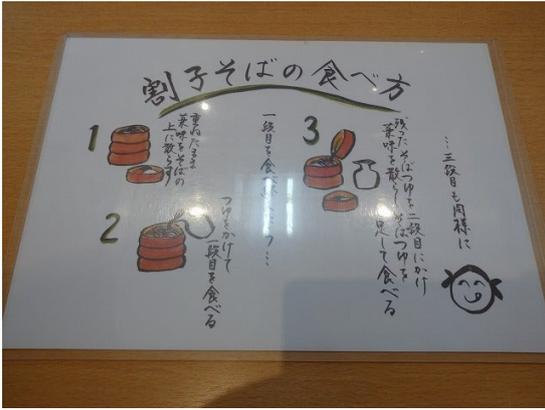


割子そば 3段

割子そばの食べ方

「割子そば」はそばの器につゆを入れる

「わんこそば」はそば猪口(ちょこ)にそばを入れる



薬味

一枚目はきのこのこの天ぷら



二枚目はとろろ

3枚目は大根おろしと山菜



最後の器はこんな状態で完食

一福の七色唐辛子



長野市の「八幡屋礒五郎」地元も物を見つけるとうれしい EMPTY DISHES



一泊2日(私は出雲で分かれたが)、広島をスタートして岡山、鳥取、島根、広島
乗車時間約15時間 走行距離約800km
ドライバーさん(とんかつ さちのオーナー)にはご苦労をかけたが、ハードであったがいいツアー
であった お疲れ様でした



出雲空港を後にして帰宅
長いブログにお付き合いいただきありがとうございました